

【パネルディスカッションテーマ】

テーマ1：本市・本町のまちづくりにおける課題と官民連携の取組

テーマ2：官民連携を進めるにあたっての課題

【主な発言内容】

○（つくば市長）市原 健一 氏

官民連携事業では、住民側のコンセンサスと民間の収益性の確保をいかに調整するか、行政と民間事業者のリスク分担の難しさなどが課題。今後、公共施設の老朽化、つくばエクスプレス沿線地区の人口増への対応に民間のネットワークやノウハウを活用していきたい。

○（武蔵野市長）邑上 守正 氏

PPP/PFI に対する行政・議会・市民・事業者の意識改革や公民連携のノウハウを持った自治体職員の育成が必要。民間の知恵を借りて、市民に対するサービス向上、行政におけるコスト削減、事業者のビジネスチャンスの拡大につなげたい。

○（湯河原町長）富田 幸宏 氏

湯河原温泉場の活性化のために、万葉公園の再生・活用等に PFI 手法を活用する検討を行っている。小さい自治体の事業に民間企業が興味を示すか心配していたが、本日、民間企業の方の話を聞いて可能性があることを確認できた。今後のまちづくりにつなげたい。

○（習志野市長）宮本 泰介 氏

官民連携を進めるにあたっては、利用者の理解、地域事業者の参画、行政と民間の間に存在する壁、公共の担い手の拡大等が課題。市民と行政が協力しながら、地元が活性化する事業のあり方を考えていきたい。

○（和光市長）松本 武洋 氏

当市は保健福祉の分野で公民連携の成果が得られている。課題として、公民連携事業の場合、民間企業の参加が景気に左右される点などが挙げられるが、今後、まちづくりを民間主導で推進するなど、新たなチャレンジをしていきたい。



【官民連携（PPP/PFI）事業の推進に向けた首長意見交換会】



【（つくば市長）市原 健一 氏】



【（武蔵野市長）邑上 守正 氏】



【（湯河原町長）富田 幸宏 氏】



【（習志野市長）宮本 泰介 氏】



【（和光市長）松本 武洋 氏】



（左）【（東洋大学 経済学部 教授）根本 祐二 氏】



（右）【（日本大学 経済学部 教授）中川 雅之 氏】